



競争と協調により プロイノベーションを推進する 知的財産戦略

上野 剛史 (*Takeshi Ueno*)
Senior Counsel, Intellectual Property Law, IBM



June 20, 2009

© 2009 IBM Corporation

競争と協調のバランス

工業化経済から知識経済への移行に対応して

プロプライエタリ・イノベーション

- 権利者によるコントロール
 - ▶ 独占/クロスライセンス/IP収入
- 独自製品・コア技術

オープン・イノベーション

- 境界を越えた協業
 - ▶ コミュニティによる問題解決
- オープン技術をコア技術の中で利用
 - ▶ OSS, パテントコモンズ, オープン標準

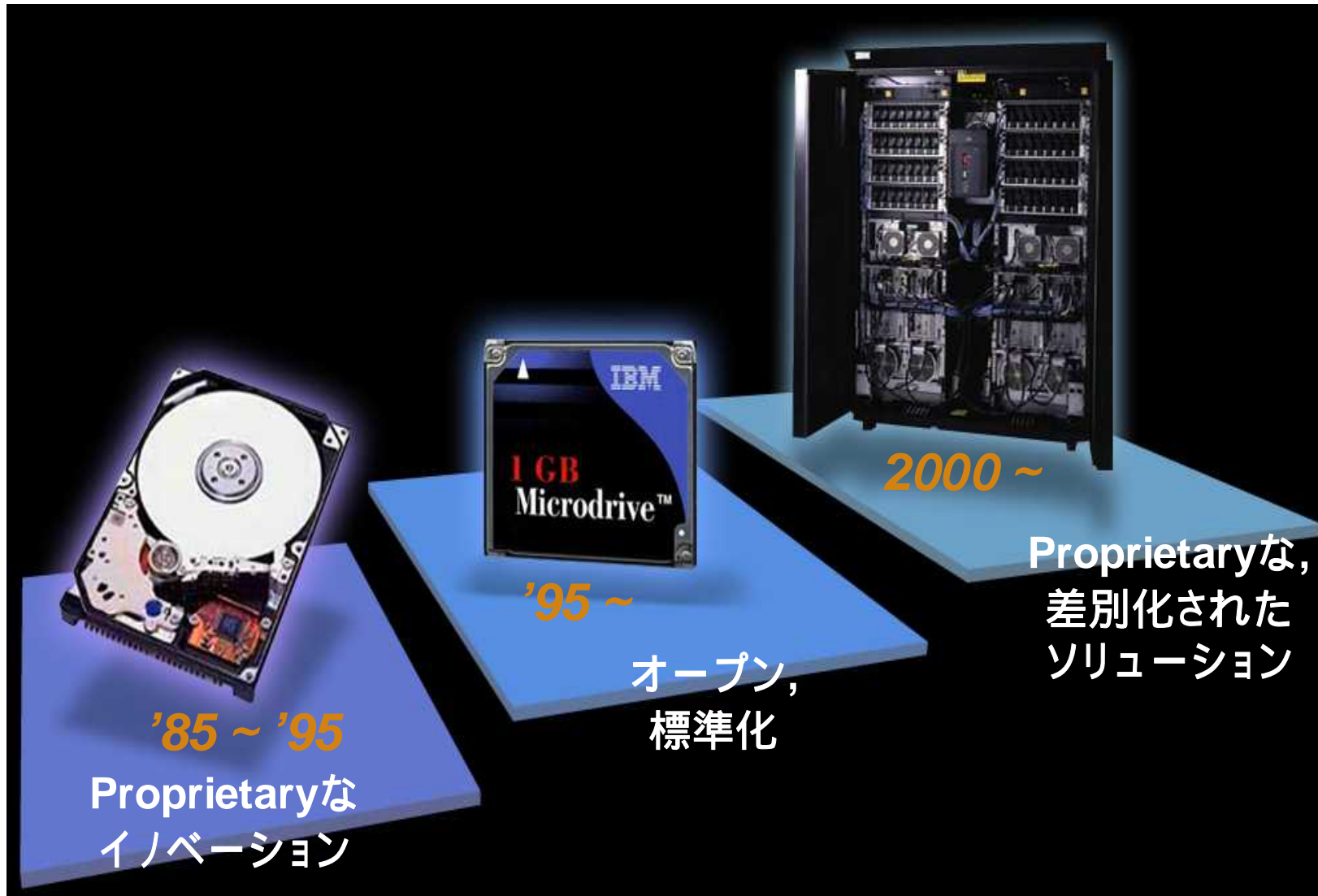


プロプライエタリ

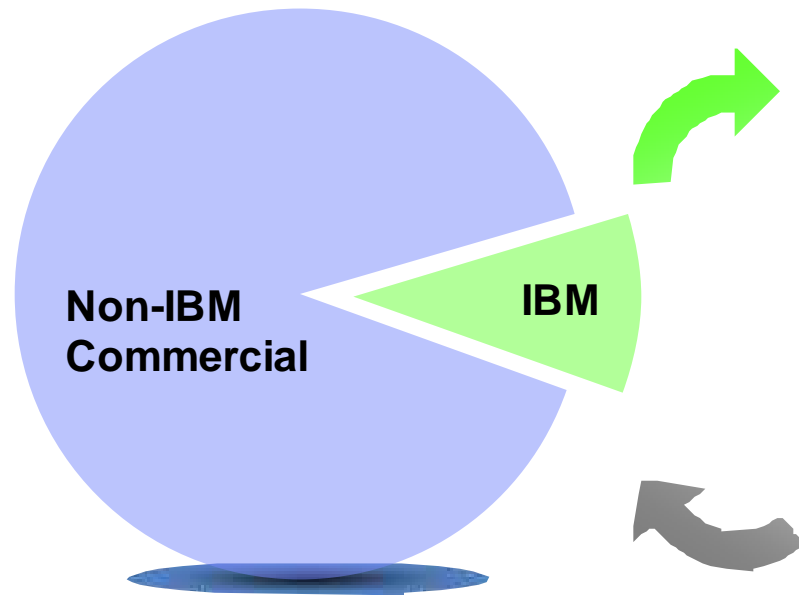
オープン

競争と協調について様々なレベルが存在する

時代とともに進化・変化するIPの価値



レバレッジを利用した開発費用の調達 - IBMにおけるLinuxの例



IBM リナックス・テクノロジー・センター

\$50M/年	IBM独自仕様
\$50M/年	共通

\$100M/年 合計

開発環境に要するコストは、
IBM独自方式の場合の1 / 5

IBM以外の、リナックス開発費用 (例 インテル、ノキア、日立等)

\$450M – 700M	各社独自仕様
\$450M – 700M	共通

\$900M – 1,400M 合計

特許開放: 標準・OSS・環境におけるイノベーション加速

- Linuxカーネルへの特許開放
- 500件のソフトウェア特許をオープンソースへ開放
- OASIS ウェブサービスへの特許開放
- 医療・教育のソフトウェア標準への特許開放
- OAGIS 標準への特許開放
- ソフトウェアの相互運用性を確保する標準への特許開放
- エコ・パテントコモンズ

